

2022 年度 学位記・修了証書授与式 祝辞

東京理科大学を卒業、修了される皆さん、おめでとうございます。

学校法人を代表いたしまして、心からお祝い申し上げます。

皆さんは、友人や先輩、教職員など、沢山の人々に支えられながら、学部生あるいは大学院生、専攻生として、多くの努力と献身を積み重ね、本日、本学のそれぞれの課程を修了され、学位記、修了証書を授与されることとなりました。理事長として大変うれしく思っています。

長い間、皆さんを励まし温かく見守ってこられた、ご父母やご家族の皆様にとりましても、皆さんの卒業・修了が大きな節目であり、皆さんが立派に新たなステージに進まれることを、さぞお喜びのことと改めてお祝い申し上げます。

皆さんが東京理科大学で、仲間たちと一緒に過ごしてこられたかけがえのない日々は、勉学や研究、課外活動など様々なことに取り組み、密度の濃い充実した年月だったことと思います。また、ここ3年間は新型コロナウイルスの感染対策のため、通常とは全く異なる環境の中で、想定外の挑戦にいどみ続けるような難しさを感じる事もあったかもしれません。そういった数多くの課題に直面しながらも、それらを見事に乗り越えて大きく成長し、今日の良き日を立派に迎えられた皆さんに改めて敬意を表します。

東京理科大学は創立から 140 年以上の長い歴史を持ち、その間に、高い専門性と共に、科学的に思考する力、豊かに発想する力などを身に着け、“社会に貢献する実力”を有する人間を育てることを使命とし、質の高い教育を行ってきました。そして、今まで約 22 万人の方が、この理科大の伝統とも言うべき「実力主義的教育」を受けて卒業され、現在では、大学院生も含めて 19000 人を超える学生が在学する、我が国随一の理工系総合大学へと大きく成長しています。そんな本学の卒業生たちは、これまで教育、産業、行政など多岐にわたる分野で幅広く活躍され、長年にわたり科学技術立国としての日本の成長を支え、また世界的な規模で人類社会の発展に貢献してこられました。このように先人たちが代々積み重ねてこられた努力により、本学は国内外において揺るぎなく安定した高い評価を得ています。今日からいよいよ皆さんもそのネットワークの一員に加わられることを、同窓の一人として心から歓迎いたします。

我々は、8 年後の創立 150 周年に向けたビジョンとして、これまでの「日本の発展を支えてきた理科大」から大きく昇華させ、これから先の将来を見据えた「世界の未来を拓く TUS(Tokyo University of Science)」を掲げています。この「世界の未来を拓く」には幾重にも深い意味が込められていますが、皆さんが国内外のあらゆる広い世界で活躍するとい

うことだけでなく、SDGsのように世界がグローバルに抱えている様々な課題の解決に向けて積極的に挑戦する、そんな高い意識を持つ人材の育成を目指すことが重要だと私は考えています。

翻って、現在の日本社会は、先行きが不透明で不安な世界情勢に加えて、国内においても予測不能な事故や自然災害などが重なり、経済の低迷が続いています。このような難しい状況を打破するには、科学技術をさらに推進し、イノベーション力を抜本的に強化することが必要であり、特にデジタルやグリーンなどの成長分野を中心に、理工系人材の拡充が強く求められています。このような時代だからこそ理科大卒業生の皆さんは、これからますます必要とされる人材の先頭に立ち、高い専門的知識の裏付けがある自由闊達な創造力を発揮することが強く期待されているのです。是非「世界の未来を拓く」という言葉に込められた精神を胸に、自信をもって存分に活躍していただきたいと願っています。

明治時代の初め、今の皆さんとほぼ同年代の21名の若き学徒たちが、私財を投じ熱い想いと創意工夫で幾多の困難を乗り越えて東京理科大学の前身を創設した頃、日本社会はその基盤が大きく変化を遂げる激動の時期でもありました。これから本学を卒業し社会で活躍していく皆さんにとっても、未来は未知数で、不安な中で進める歩みは、時に難しい決断を迫られる場面も少なからずあることでしょう。しかしそんな時こそ本学で培った専門的な知識や経験に加えて、創設以来、我が理科大に受け継がれてきた高い理想を胸に、希望を持って挑戦し続けるチャレンジャー精神を存分に活かして、粘り強く取り組んでほしいと思います。たとえ、今は少し困難に見えたとしても、自分が正しいと思える道に勇気を持って挑戦することで、その先の未来に予想外の素晴らしい成果が得られるという事は、何よりも本学の偉大な先人たちの歩みが証明しています。是非皆さんも長きにわたる先人たちの輝かしい歩みに続いてください。

我々理科大も、我が国の理工系総合大学の旗手として、世界のより良い未来を拓くために、一層高い水準の教育や研究を行うことを目指し、さらなる高みに向かって今後も挑戦し続けてまいります。そして、これから卒業される皆さんに対しても、生涯の学びの場として、また、校友ネットワークの拠点としての役割をしっかりと担い、皆さんの母校として生涯にわたり連携できればと心から願っています。

最後に、皆さんが健康に留意され、これからの人生が心豊かで輝かしい日々となりますことを祈念して、私のお祝いの言葉といたします。本日は誠におめでとうございます。

2023年3月19日
学校法人東京理科大学
理事長 浜本 隆之